

令和2年度 家庭教育オピニオンリーダー研修③ 実施報告

実施日：令和2年9月16日（水）

新型コロナウイルス感染防止のため、「3密」回避対策、受付時の健康チェック及び検温、パーティションの設置等を行い、実施しました。

○ 事例発表「家庭教育オピニオンリーダーの活動」

○ 座談会 「先輩オピニオンリーダーに聞く」

栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会 会長 松岡 あゆみ 氏

顧問 伊吹 桂子 氏



栃木県家庭教育オピニオンリーダー連合会について、松岡氏と伊吹氏から説明がありました。オピニオンリーダー連合会は、30年を超える歴史ある組織として、子育て・人づくり・地域づくりを目標に、約500名の会員が活動しています。県内にある35の支部がそれぞれの得意とする分野や地域の特性を生かし、地域に根づいた活動を展開していることや、連合会の役割を会員同士の思いをつなげること、情報発信、行政や他団体等との連携と考えていることなど、連合会の活動内容についての話があり、受講者は熱心に耳を傾けていました。

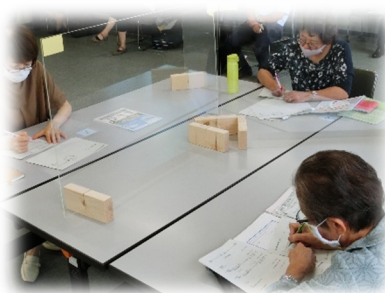
後半の座談会では、連合会が準備したアンケート項目に従い、松岡氏と伊吹氏が受講者の質問に対し、回答する形で進みました。連合会の活動をもっと知りたい、どんな思いをもって活動しているのか、活動と仕事の両立について、受講者が考えたこと、感じたこと、疑問に思ったことなどの質問に講師のお二方は真摯に対応しました。受講者は連合会について理解を深めることができました。

○ 演習「地域元気プログラムの体験」

総合教育センター職員

前半は、コミュニケーションに関する話がありました。言葉の重要性とともに、話し手が発する言葉の強弱や長短、聞き手の表情やしぐさも重要であることを、体験を通して学びました。次に、アイスブレイクとして班内で自己紹介を行い、受講者同士が理解し合う機会となりました。

後半は、「地域元気プログラム」を体験しました。はじめに、冊子を用いた地域元気プログラムに関する説明がありました。そして、実際のプログラム体験として、「BEST3を決定!?うちの地域の子どもは、こんな人に育ってほしい」を、1班3名構成で進めました。まずは、地域でこんな子どもに育ってほしいと思う選択肢を各自が選び、選んだ理由を考えます。次に班内で協議し、班として地域で育ってほしい子どもBEST3を決定します。その後、各班からBEST3として選んだ理由の発表を行い、協議内容の共有を図りました。そして、どうすれば地域で育ってほしい子どもになるか、その方策について班内で意見を出し合いました。受講者は地域元気プログラムの理解を深めるとともに、今後のプログラムの活用方法について考えることができました。



☆受講者の声（アンケートから）

- ・実際にオピニオンリーダーとして活動されている方の話を聞くことができて良かったです。
- ・オピニオンリーダーの役割と活動内容について理解することができました。同じように地域支援を行っているボランティア団体が存在することもわかりました。今後、地域のオピニオンリーダーの活動に参加し、仲間と共に地域に役立つ活動を考え、実践したいと思います。
- ・地域元気プログラムを初めて知りました。家庭教育で使えるなどとても有意義なものだと思います。研修を受講し、普段あまり意識することがなかった地域の一員ということを感じることができました。そして、地域の一員として何ができるかを考えるきっかけにもなりました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで

TEL:028-665-7206 e-mail:skc-syougai@pref.tochigi.lg.jp